

平成 28 年 11 月 8 日

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の個別業績（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

(1) 個別経営成績（累計）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	13,568	△2.5	420	21.1	461	25.3	404	42.7
28 年 3 月期第 2 四半期	13,916	△2.4	346	△2.2	368	△6.6	283	△28.7

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	23,452	13,407	57.2
28 年 3 月期	24,007	13,046	54.3

2. 経営状況について

【全体状況】

当社は、高品質の価値ある商品をお届けすることにより、ファブリックスにおけるリーディングカンパニーを目指し、各々の事業に取り組みました。

当第2四半期累計期間には、名古屋ショールームを名駅南エリアに移転し、LIXILの中部地区の旗艦ショールームである「LIXIL ショールーム名古屋」内に4月にリニューアルオープンしました。これにより、窓や室内建具などのLIXIL商品とのコーディネートも含めたインテリアファブリックスのトータルコーディネートが可能となり、利便性が大きく向上しました。

また、当社のトップデザイナー本田純子が企画・デザインから設計、プロデュースまでを一貫して手がける最高級ファブリックコレクション「Sumiko Honda」の新作『梅やわらかに 香り』を6月に発売しました。

当第2四半期累計期間における売上高は、身装・美術工芸事業・インテリアファブリック事業がともに振るわず、前年を下回ったことから、前年同期比3億47百万円(2.5%)減収の135億68百万円となりました。

損益については、全社をあげての生産性向上活動や原価低減・経費削減による効果が、減収による収益悪化の影響をカバーしたことから、営業利益は前年同期比73百万円増益の4億20百万円、経常利益は同93百万円増益の4億61百万円、四半期純利益は同1億21百万円増益の4億4百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

緞帳や祭礼幕を扱う美術工芸部門は前年並みを確保したものの、帯を中心とした呉服部門が総じて低調であったことに加え、4月に発生した熊本地震の影響を受けたことなどから、売上高は前年同期比64百万円(5.2%)減収の11億73百万円となりました。

営業利益については、減収による収益悪化の影響が大きく、前年同期比88百万円減益の48百万円の損失となりました。

[インテリアファブリック事業]

官公庁、ゼネコン、ホテル・宿泊施設、店装業者などのコントラクトマーケットへの販売は堅調に推移しましたが、全国主要百貨店や大手家具店、ハウジング・マンションなどのホームマーケットへの販売が低迷したことにより、主力のオーダーカーテンの売上が減少したことなどから、売上高は前年同期比2億81百万円(2.2%)減収の123億94百万円となりました。

営業利益については、原価低減や経費削減の効果により、前年同期比1億53百万円増益の4億58百万円となりました。

以上